

事業計画書

- 1 事業名称 公益社団法人 三沢青年会議所 2015年度 第1回通常総会並びに新年会(1月例会)
 担当委員会：総務委員会 委員長：月館 洋一

2 事業要項
 事業背景

通常総会は、2014年度の報告、並びに2015年度の新体制の方向性を伝える会であり、また、新年会については2015年度の方向性を、対外的に示す重要な事業であります。2015年度の運動を円滑に進める為に、新体制の披露の場とし、2015年度もご支援・ご協力を得るべく、地域に根ざしたJC運動をアピールし、ご理解頂く為の懇親の場でもある。

目的

対外：三沢青年会議所の役員のお披露目をおこない、2015年度の方向性を示し、多くの方からご理解とご協力を得られるよう努めると共に、日頃お世話になっているシニアクラブ会員・ご来賓並びに来訪JCと親睦を深め、繋がりを一層強固なものにすることを目的と致します。更には、メンバー一人ひとりが積極的に三沢青年会議所運動をアピールすることを目的と致します。

対内：通常総会にて2014年度の事業報告並びに収支決算書の承認を頂きます。新年会では、2015年度理事長を筆頭とした新体制で、ご来賓並びに来訪JC、シニアクラブ会員をおもてなしの心でお迎えし親睦を深めることを目的とします。

3 事業概要

実施期間	2015年1月28日	事業予算額	¥74,684
実施場所	きざん三沢		

参加員数計画

会員 29名 特別会員 名 ご来賓 124名 来訪JC 40名

事業内容

第一回通常総会 受付 15時30分 通常総会 16時00分
 ・プレジデンシャルリース伝達・新旧理事長バッジ交換
 ・第1号議案 公益社団法人三沢青年会議所2014年度事業報告書承認の件
 ・第2号議案 公益社団法人三沢青年会議所2014年度収支決算書承認の件
 ・第3号議案 その他
 新年会 受付 18時00分 新年会 18時30分
 ・オープニング
 ・開会・理事長挨拶・来賓紹介・来賓祝辞・鏡開き・乾杯
 ・2015年度役員紹介
 総括【専務理事】
 総合進行・責任者【総務委員会】
 通常総会・新年会受付補佐【青少年育成委員会】
 通常総会記録係【地域活性化委員会】
 新年会記録係【拡大交流委員会】
 全メンバーにてご来賓・特別会員・来訪JCの接待

事業計画書

- 1 事業名称 公益社団法人 三沢青年会議所 2015年度 公選理事候補者選挙7月例会について
 担当委員会：総務委員会 委員長：月館 洋一

2 事業要項
 事業背景

公益社団法人三沢青年会議所の、2016年度へ向けてのスタートを、理事長候補者・監事候補者のお披露目と共に、理事者の選任を公選理事候補者選挙として行います。

目的

対外：無し

対内：次年度理事長並びに次年度監事のお披露目、そして理事者を選挙で選任することにより、新たなスタートへ向けての準備態勢に入る場とすることを目的とし、更に懇親会においては、メンバー間の交流を深め下半期の運動に向けて更なる団結力強化を図ることを目的と致します。

3 事業概要

実施期間	2015年7月	事業予算額	¥4,000
実施場所	きざん三沢(予定)		

参加員数計画

会員 29名

事業内容

公選理事候補者に関する期日及び公示
 ・公選理事候補者は6月理事会後3日間、三沢青年会議所事務局内に備え付け、正会員の縦覧に供する。
 次年度公選理事候補者選挙
 ・投票立会人は、選挙管理委員会が行う。
 ・メンバーを4人ずつ投票所へと誘導し、対会人より公選理事候補者投票用紙を受け取り、記入後、投票箱へと投函する。
 ・順次繰り返す
 ・理事長候補者より挨拶をしていただく

事業計画書

1 事業名称 公益社団法人 三沢青年会議所 第1回臨時総会 9月例会
 担当委員会：総務委員会 委員長：月館 洋一

2 事業要項
 事業背景

理事長候補者、監事候補者、そして公選理事候補者選挙にて当選した公選理事候補者、理事長候補者の指名を受けた補充理事候補者を総会での選任のもと、理事長予定者・理事予定者とし次年度に向けての第1歩として重要な総会である。

目的

対外：2016年度の理事長候補者・監事候補者・理事候補者を選任し、シニアクラブ会員にお披露目することにより、次年度へ向けての準備が順調に進んでいることをアピールする場である。

対内：次年度の理事候補者を総会で選任することにより、メンバー全員に次年度の準備に入ると意識を持っていただくと共に、懇親会ではシニア会員との親睦を深めることを目的とする。

3 事業概要

実施期間	2015年 9月	事業予算額	¥6,788
実施場所	きざん三沢(予定)		

参加員数計画

会員 29名 シニアクラブ会員 133名

事業内容

第1号議案 理事長選任の件
 第2号議案 監事選任の件
 第3号議案 公選理事選任の件
 第4号議案 補充理事選任の件
 第5号議案 その他

事業計画書

1 事業名称 公益社団法人三沢青年会議所 忘年会・LOM褒賞授与式 12月例会
 担当委員会：総務委員会 委員長：月館 洋一

2 事業要項
 事業背景

三沢青年会議所に貢献してきた卒業生の労をねぎらい、これまでの功績を讃え感謝の意を表し、お見送り致します。そして、一年間の締めくくりとして、今年おこなってきた事業を振り返り、LOM褒賞として最優秀委員会賞、最優秀新人会員賞、最優秀会員賞の表彰をおこない会員の意識向上へ繋げなくてはなりません。また、三沢青年会議所運動に対し、多大なるご支援とご協力を頂いているシニアクラブ会員の皆様へ一年間の感謝の気持ちを伝える場が必要となります。

目的

対外：卒業生が行ってきた運動の功績を讃えると共に卒業生のご家族にこれまでのご理解とご協力に感謝することを目的と致します。またシニアクラブ会員の皆様へ三沢青年会議所活動に対し、ご支援ご協力を頂いていることに対しての感謝の気持ちを伝え、交流を図る事を目的と致します。

対内：【卒業式】卒業生より会議所運動の中で学んだ事や現役会員に激励のメッセージを伝えていただく事で今後の青年会議所運動の励みになる事を目的と致します。【忘年会】会員一人一人が1年間を振り返りそれぞれの労をねぎらい、また新たな目標をもって次年度を迎えるための懇親の場となる事を目的と致します。【LOM褒賞】1年間の委員会事業、会員の運動を表彰し功績を讃え次年度の会員の意識向上へ繋がる事を目的と致します。

3 事業概要

実施期間	2015年 12月	事業予算額	¥108,128
実施場所	きざん三沢(予定)		

参加員数計画

会員 29名 シニア会員 137名 来訪 J C 30名

事業内容

卒業式

卒業予定者

甲地 洋商 沖沢 将寿 北向 晃 佐々木 文仁
 類家 優 中田 民元 澤上 克彦 岡山 信広

LOM褒賞

最優秀委員会賞 最優秀新人会員賞 最優秀会員賞の発表と表彰

事業計画書

1 事業名称 第19回三沢・沖縄児童交歓事業（迎え入れ） 2月例会

担当委員会：青少年育成委員会

委員長：澤上克彦

2 事業要項 事業背景

1978年より「国内でも気候、風土、生活環境の著しく異なる地域である三沢市の児童と沖縄市の児童が、互いに見聞を深め、友好を結び、健やかに育ちいくための糧になること」を目的として児童交歓事業調印式が行われ、それから38年間という長い歴史を刻んだ本継続事業も第19回目を迎えるまでとなり、青少年育成運動に大いに貢献してきた継続事業であると考えます。

目的

対外：寒冷な気候の青森県三沢市と、温暖な気候である沖縄県沖縄市に生活する人々の歴史・風土・生活環境、習慣の違いを肌で触れ肌で感じ、友情を育み人に感謝する心を学ぶことを目的とする。

対内：三沢・沖縄児童交歓という歴史ある本事業を通じ、三沢青年会議所メンバー間の団結力を高めるとともに、姉妹JCである沖縄青年会議所との繋がりを深め、今後の青少年育成運動に繋がる事業にすることを目的とする。

3 事業概要

実施期間	2月5日～2月9日	事業予算額	¥615,776
実施場所	青森県近隣及び三沢市内		

参加員数計画

会員29名 三沢児童9名 沖縄児童9名 沖縄JC10名
シニアクラブ10名 児童保護者18名 教育関係者5名

事業内容

オリエンテーション

- ・全4回（予定）

三沢・沖縄児童交歓事業

- ・沖縄児童に三沢の文化・生活習慣の違いを体験してもらう
- ・ホームステイの体験及び団体行動

事業計画書

1 事業名称 親子で山菜チャレンジ～採って、作って、食べてみて～ 4月例会

担当委員会：青少年育成委員会

委員長：澤上克彦

2 事業要項 事業背景

親の世代においても食事づくりに関する必要な知識や技術を十分有していないとの報告がみられ、親子のコミュニケーションの場となる食卓において家族そろって食事をする機会も減少している状況にある。これらの問題に対応するため、食を通じて、親子や家族との関わり、仲間や地域との関わりを深め、子どもの健やかな心と身体の発達を促すことをねらいとし、家庭や社会の中で、子ども一人ひとりの"食べる力"を豊かに育むための支援を目的としている。

目的

対外：近年の家庭環境に少ないと思われる『食』と『自然』を体験し、親子が共に学べる場を提供し、親子のコミュニケーションの機会を作り、家庭内での青少年の健全な育成の手助けとなる『食育』という観点の指標を提案することを目的とする。

対内：本事業を参加親子に提供することで、メンバーが企画、運営を通して『食育』という考え方を学び、自然と家族について新しい学びを得、今後の青少年育成運動につなげていくことを目的とする。

3 事業概要

実施期間	4月26日	事業予算額	¥61,116
実施場所	小川原湖周辺及び三沢市国際交流教育センター		

参加員数計画

会員29名 三沢市近隣の親子15名 米軍三沢基地在住親子6名

事業内容

【食材調達】

メンバー及び三沢市近隣の親子で小川原湖周辺で春の山菜を採集する。採集体験をする事で身近な処に食材がある事を学ぶ。

【調理】

食に関するさまざまな知識を理解する。そして、調理方法をインストラクターからアドバイス頂きメンバー及び親子で調理する。親子がコミュニケーションを取りながら参加者全員で調理し、食育を学ぶ。

【実食】

食に感謝する心を学び、食す。

栄養等、講師から指導頂き、食の大事さを学ぶ。

調理方法での栄養価の変化や味の違い、調理方法などを実際に食べながら学ぶ。親子で調理方法等をインストラクターから聞き家庭の食卓に並ぶ料理に繋げる。

事業計画書

- 1 事業名称 第34回三沢国際サマーフェスティバル 8月例会
担当委員会：地域活性化委員会 委員長：濱田繁男

2 事業要項 事業背景

三沢市の中心市街地は都市開発のもと移転や建て直しによりまちの雰囲気も大きく変化しましたが、不景気や震災の影響により未だ経済は苦しい状況にあり、それを拂拭し笑顔あふれる元気なまちを取り戻す為に、他団体と協力しさらに三沢まつりを盛り上げることに、三沢の経済の発展に貢献していかなければならない。

目的

対外：三沢ならではの国際色をアピールしつつ、市民のパフォーマンスの場を創出することで文化と観光及び産業の復興に寄与する。

対内：他団体とのネットワークを密にすることで明るい豊かな社会を築くため協和し、会議所活動の意識を向上させ次年度へ繋げる。

3 事業概要

実施期間	8月20日(木)～8月23日(日)	事業予算額	¥1,938,000
実施場所	アーケード商店街(広瀬G.S前)～基地ゲート前、及びアメリカ広場		

参加員数計画

会員 29名 一般 750名(参加者)

事業内容

- ・三沢まつり前夜祭全体会議より4日間を通して、関係諸団体と共にアメリカ広場の運営
- ・中日の神輿パレード及びアメリカ広場での審査・グランドフィナーレまで運営進行
- ・参加団体の募集及び説明会の開催。合わせて関係諸団体との打ち合わせ
- ・アメリカ広場特設ステージの運営

事業計画書

- 1 事業名称 広報誌やませ(第34回三沢国際サマーフェスティバル)発行
担当委員会：地域活性化委員会 委員長：濱田繁男

2 事業要項 事業背景

我々三沢青年会議所は、三沢市のさらなる発展を目指しながら、多くの人々から理解を得られようと様々な事業等を展開しております。しかしながら、未だ地域の皆様のなかに我々の活動は認知されていないと感じております。今まで以上に多くの地域の皆様から認知して頂くため、また、我々の活動が地域にとって必要であると感じて頂くためにも三沢青年会議所の活動内容やその存在意義を広報誌を活用し、広く発信する必要があると考えます。

目的

対外：第33回三沢国際サマーフェスティバルの内容や三沢青年会議所の活動内容など我々の思いを周知して頂けるツールであり一人でも多くの地域民に活動のご理解を頂く。また、会議所運動の魅力を知って頂くことにより会員増強に繋がる事を目的とします。

対内：三沢市内やおいらせ町の一部に広く配布することにより、頂いた反響を各メンバーが今後のJC運動に繋げ三沢青年会議所全体のレベルアップを目的と致します。

3 事業概要

実施期間	8月20日(木) 予定	事業予算額	¥155,520
実施場所	三沢市内全域及びおいらせ町の一部地域		

参加員数計画

なし

事業内容

広報誌やませ(案)作成

- ・発行時期 平成25年8月22日(木)(予定)

発行部数

- ・15,000枚(B4カラー両面印刷)(予定)
- ・三沢国際サマーフェスティバルPR(23日～25日の3事業)
- ・三沢JCの活動PR 次年度理事長予定者挨拶 協賛企業広告
- ・会員募集告知 その他

新聞への折り込み

- ・読売新聞、朝日新聞、東奥日報、デーリー東北の4社

発行者

- ・公益社団法人 三沢青年会議所

事業計画書

1 事業名称 8月例会における収益事業

担当委員会：地域活性化委員会

委員長：濱田繁男

2 事業要項

事業背景

三沢国際サマーフェスティバル（公益事業）を継続的していく為にも、これに対する収益事業を実施する必要がある。

目的

対外：なし

対内：販売を通し、お客様とのコミュニケーションを図ることで、三沢青年会議所の運動を広くアピールする。収益事業を実施することで、三沢国際サマーフェスティバル（公益事業）の収入基盤を強化する。

3 事業概要

実施期間	8月20日（木）～8月23日（日）	事業予算額	¥150,000
実施場所	アメリカ広場（予定）		

参加員数計画

会員 29名

事業内容

2012年度と同様にサマフェス会場にて、ドリンクブース（JC）を設ける。
酒類、ジュース等
売上目標は、¥200,000とする。

事業計画書

1 事業名称 知ってる？みさわのこんなとこクイズ問題を作っちゃおう！

担当委員会：地域活性化委員会

委員長：濱田繁男

2 事業要項

事業背景

三沢に生活の拠点を置いている我々ですが、当たり前のように考えている三沢について意外に知らないことがたくさんあります。三沢に関する知識を十分なものにしてこそ、地域活性化のための情報発信が効果的なものとなります。さらには地元をより知るにより、地元愛がより強固なものとなり、地域の活性化に繋がります。今後の我々の地域活性化運動の下地となるこの事業の実施は必要不可欠です。

目的

対外：事業参加団体の皆様に三沢に関する知識をさらに深めて貰い、情報発信能力の向上に繋げて頂くことを目的とする。

対内：本事業を通して三沢に関する知識をさらに深めることにより、個々人の三沢に関する情報発信能力を高め、愛情を深め、さらには三沢青年会議所メンバー間の団結力及び他団体との結びつきを強固なものとし、今後の地域活性化運動に繋げる事業にすることを目的とする。

3 事業概要

実施期間	6月30日（予定）	事業予算額	¥4,000
実施場所	公益社団法人三沢青年会議所事務局		

参加員数計画

会員 29名

外部団体協力者 4名

事業内容

- ・公益社団法人三沢青年会議所メンバー全員で10月例会「知ってる？みさわのこんなとこクイズ」で使用する問題を作成します。
- ・全50問 解答時間50分を想定した問題作成。
- ・ジャンルは自然、歴史、文化、市政とします。（予定）
- ・青少年、総務、地域活性化、拡大交流委員会で上記ジャンルのうち一つを担当して頂き、担当ジャンルについて20問、当日までにご用意していただきます。
- ・当日各委員会が持ち寄った問題についてメンバー全員及び三沢市観光協会職員及び三沢市職員の皆様に精査致します。問題が曖昧でないか、参考資料は適切か、ジャンルの内容に偏りが無いか等。
- ・問題の外部監修として三沢市及び三沢市観光協会にご協力を頂きます。
- ・上記過程を経て揉んだ検定問題を10月例会において使用します。

事業計画書

1 事業名称 知ってる？みさわのこんなとこクイズ
担当委員会：地域活性化委員会 委員長：濱田繁男

2 事業要項 事業背景

三沢に生活の拠点を置いている我々ですが、当たり前のように考えている三沢について意外に知らないことがたくさんあります。三沢に関する知識を十分なものにしてこそ、地域活性化のための情報発信が効果的なものとなります。さらには地元をより知るにより、地元愛がより強固なものとなり、地域の活性化に繋がります。今後の我々の地域活性化運動の下地となるこの事業の実施は必要不可欠です。

目的

対外：本事業を通して、三沢を見つめ直していただくことを、そして三沢に関する知識をさらに深めていただくことを目的とする。

対内：本事業を通して三沢に関する知識をさらに深めることにより、個々人の三沢に関する情報発信能力を高め、愛情を深め、さらには三沢青年会議所メンバー間の団結力を強固なものとし、今後の地域活性化運動に繋げる事業にすることを目的とする。

3 事業概要

実施期間	10月16日(金)	事業予算額	¥83,150
実施場所	三沢市商工会2階講堂		

参加員数計画

会員29名 地域住民30名 地域住民(PRパンフ配布)1000名

事業内容

1. 委員会事業にて外部協力者と共にクイズ問題を作成する。
2. 上記クイズ問題を外部(協力団体及び一般住民)に解いていただく。
3. 上記クイズ問題結果を分析して地域活性化及び会議所会員拡大に資するPRパンフを作成する。

- ・公益社団法人三沢青年会議所及び外部協力者と共同でクイズ問題を作成し、メンバー及び外部協力者、地域住民の方々に解答していただきます。
- ・クイズ終了後会議所地域活性化委員より解答を発表します。
- ・解答発表後今回のクイズ問題に追加した方が良い問題等を話し合ってください。
- ・外部協力者及びJCMメンバーのご意見、ご感想等及びジャンル別正答率の良し悪しの結果を反映して、11月末をめぐりに今回のクイズ問題の解答を分析し、地域のさらなるPRへとつながるパンフレットを作成する予定です。
- ・クイズに参加された皆様は自らの正答率が良くなかったジャンルを意識して今後の日常生活で新しく学んだ三沢の魅力を感じ取って頂きます。どのような視点で三沢を見ると三沢をよく知れるかなどをお聞きします。
- ・クイズの得点に応じ、下記の級を差上げます。

4級/0~25点 3級/26~50点 2級/51~75点 1級/76~95点 特級/95点以上

- ・ホームページ上にクイズ解答者の申し込み番号及び取得した級を掲載いたしますので、掲載後認定カードを事務局まで取りに来て頂きます。

事業計画書

1 事業名称 第24回シーサーオープンチャリティーゴルフトーナメント 5
月例会

担当委員会：拡大交流推進室

室長：安田勝司

2 事業要項

事業背景

公益社団法人三沢青年会議所と一般社団法人沖縄青年会議所が協力し、三沢・沖縄児童交歓事業を38年間継続しております。しかし、このすばらし青少年育成事業は、一定の資金が必要です。参加者の負担を少しでも軽減することにより様々な方が参加できます。そのため、この、シーサーオープンチャリティーゴルフトーナメントを開催致します。

目的

対外：三沢・沖縄児童交歓事業への理解をして頂くとともに、公益社団法人三沢青年会議所のPRの場とすることを目的と致します。

対内：事業を通じ、メンバーがご参加いただく方々への感謝を忘れず、おもてなしの気持ちを持つ事で、今後の事業の糧にする事を目的とします。また、三沢・沖縄児童交歓事業への参加意識の向上を目的とします。

3 事業概要

実施期間	5月24日	事業予算額	¥1,496,000
実施場所	米軍三沢基地内ゴッサーメモリアルG.C		
	米軍三沢基地内MUTSU OFFICERS CLUB (将校クラブ)		

参加員数計画

会員29名 各青年会議所20名 シニアクラブ会員20名

一般市民及び関係諸団体60名

事業内容

例会

- ・チャリティーゴルフトーナメント開催の意義の確認
- ・チャリティーゴルフトーナメント実施内容・当日の動き確認

チャリティーゴルフトーナメント

- ・チャリティーゴルフトーナメントの開催
- ・表彰式及び懇親会

事業計画書

1 事業名称 公開討論会

担当委員会：三役担当

副理事長：西村盛男

2 事業要項

事業背景

近年、政治への関心の薄れから、各種選挙の投票率は低下傾向にあります。しかしながら、本来、選挙における投票行動によって地域の未来を選択するのは、我々市民一人一人の権利であり責務であります。だからこそ、より多くの市民に対し、一人一人が有権者であり、再認識していただくためにも、政策本位による政治選択ができる機会を、我々JICの存在意義にかけて創出する必要があります。

目的

対外：公開討論会を通じて政策本位の政治選択をし、このまちの未来を自らの手で選択するという主権者意識を向上させることを目的とする。

対内：公開討論会を通じて、多くの市民に政策本位による政治選択の機会を提供し、メンバーがこれらの重要性を認識した上で、この運動に対する意識を向上させることを目的とする。

3 事業概要

実施期間	三沢市長選挙告示前5月～6月	事業予算額	¥68,756
実施場所	三沢市公会堂小ホール（予定）		

参加員数計画

会員 29名 一般参加者 281名

事業内容

【主催団体等】
主催：（公社）日本青年会議所 東北地区 青森ブロック協議会（予定）
主管：（公社）三沢青年会議所（予定）
・市民が自ら責任をもって政策本位による政治選択をするための参考情報を得る機会として、公開討論会を開催します。JICとしては、公平中立という立場を貫徹し、来場者が立候補予定者の発言や政策を見極めて判断できるように立候補予定者の情報収集と参加要請「e-みらせん」の活用
ちらし、ポスター、ホームページ等を活用し、一般市民へ情報発信（ちらしはポスター日本JIC、青森ブロック並びに他組織との連携）
マスコミを活用した事業内容の周知及び三沢JICのPR（記者会見等）
立候補予定者による公開討論会（コーディネーターが進行）
参加者アンケートの実施
議事録作成

事業計画書

1 事業名称 設立記念例会「還暦・喜寿・卒寿・銀婚式・金婚式」を祝う会
11月例会

担当委員会：三役担当

専務理事：蛭名 満

2 事業要項

事業背景

社団法人三沢青年会議所は、1963年（昭和38年）11月17日に社団法人十和田青年会議所のスポンサーのもと、第262番目のLOMとして日本青年会議所より承認され誕生いたしました。これまで先輩諸兄が築いてこられた歴史や当時におこなわれた事業やご活躍を振り返り、感謝すると共に還暦のお祝いをおこない特別会員と正会員との交流が更に深まるよう開催致します。

目的

対外：敬意を表し感謝の気持ちとおもてなしの心で先輩諸兄をお迎えし、シニア会員及び現役メンバーでお祝いすることで、より一層交流が深まることを目的と致します。

対内：公益社団法人三沢青年会議所の歴史や先輩諸兄がこれまでおこなってきた事業を振り返り、学ぶことで今後の三沢青年会議所運動に繋がります。

3 事業概要

実施期間	11月 予定	事業予算額	¥54,000
実施場所	きざん三沢（予定）		

参加員数計画

会員 29名 シニアクラブ会員 120名

事業内容

還暦・喜寿・卒寿・銀婚式・金婚式を祝う会
・対象となる先輩のプロフィール紹介
・対象となる先輩及び家族の方へ花束と記念品の贈呈
懇親会
・対象となる先輩の紹介
・対象となる先輩から現役当時の写真（パワーポイント）を見て頂きながら、当時の苦労や喜びの体験談等を語って頂く。
・質問時間を設ける